

# 昔ながらの 家づくりを 通して

家づくり塾主宰（設計士）  
橋詰 飛香  
（今治市）

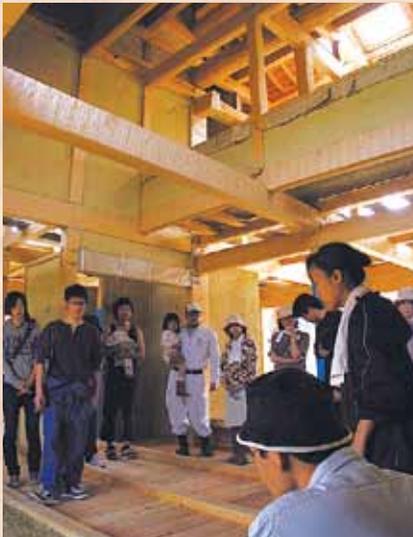


## 『住』の現状

2年程前から「昔ながらの家づくり」を通して、住まいの大切さを知って頂きたいと『家づくり塾』を行っています。家づくりは、一見すると「家を建てる人だけの個人的な行為」として受け止められる方が多いです。しかし、「街に活気がない」「地場産業が衰えていく」「子供がアレルギー」「森林が荒れている」「環境破壊」といった問題も、『住』と深く関

係し、私たちの営みを支える根幹に直結し、大きな影響を与えています。

昔の住まいは、地場で採れる木や土、草、石を使い、自然・生き物（動植物・人）に優しく、その地の気候風土のもとで、自然に寄り添う最適な住まいでした。住まいの骨組みや造作・建具に使われる木は、山を育み、昼や壁や和紙などに使われた藁・麻・楮・イ草・茅は、農を育み、糊材の海藻（角又）や石灰（貝）は海からといったふうには、山や里や海の生業が『住』から数多く広がっていました。そして、それを調理し、家へと形作っていく大工・左官・建具・畳・和紙・瓦・茅葺き・竹細工等のあらゆる職人技術が育まれ、その下に鍛冶などの道具づくりの文化が広がっていきました。そこには、一人ひとりが生産者の一片として機能していた営みがあった事が感じられます。しかし、今や住まいの現状を見渡せ



木ある、木の結晶である、職人たちの智恵と技の家づくりと昔ながらの職人たちの生の声に耳を傾けて

ば、外国から輸入された材料やメーカー商品のオンパレードです。新建材のボードやメーカーの既調合された壁材は、左官本来の仕事を必要とせず、機械化や便利な金物は、大工の指し物や組み物・刻みの技術が必要とせず、どの職種においても職人たちはみな死んでいる様に見えます。メーカーは潤っても、人を育むことのない『住』の現場に、地場の産業や街が衰退していくのは当たり前。気候風土にあわない素材や家のづくりは、自然にも人にも悪影響を与え、土にも還らないゴミとなっていく。それが『住』の現状です。

## 『家づくり塾』の取組

『家づくり塾』を始めたのは、そんな『住』の置かれた状況を知って頂きたい、先人たちの循環持続する営みの素晴らしさを伝えたいという想いがありました。喜ばしい事に、家づくりを考える方以外にも、学生や環境に関心のある若者たちがたくさん参加してくれました。

『家づくり塾』では、建て主より与えて頂いた「昔ながらの家づくり」そのものが教科書となり、木組みが露わな時は大工を、竹小舞が掻かれ土壁を塗る時には左官を招いて、出来るかぎり職人たちの生の声に耳を傾けて

昔ながらの家づくり『家づくり塾』 <http://www.aastudio.info/>

貰いたいと思いません。日頃は耳にする事のない職人たちの生の声は、何よりの説得力をもちます。頑なに本来の仕事を守り続ける職人の苦悩や、本来あるべき仕事から見えてくるものはとても多いです。また、土のワークショップでは、参加者自らが職人となり、泥んこになって壁土にふれながら、昔の家づくりで見られた「結い」を体験。建て主からは感謝の気持ちが入められた無農薬野菜と玄米ご飯の昼食が振る舞われ、お金のやり取りだけではなかった営みの世界を少し感じて頂けたようです。体に優しい地域の旬の食事を頂きながら、住まいも同じく地域の素材がその体（住まい）に一番相応しい事など、食と住の繋がりを感じながら『衣食住』が私たちの暮らしに与える影響を語り合う機会となりました。



左官による竹小舞捲きの実演

『住』の現状や、昔の住まいにあった先人たちの素晴らしい智慧を垣間見て、それぞれに心響くものがあつた様で、参加者の目が真剣な輝きに満ちていくのが感じられました。

『家づくり塾』は、消費者の小さな集いや職業訓練校生の学びの場として、機会あることに発信の機会を得ました。当初は、外へのメッセージを託した活動でしたが、予想以上の参加者の反応に、主催する私自身や塾の開催に協力してくれた若い職人たちが、何よりも勇気づけられ、励まされる結果となりました。本来の仕事に頑なに実践している職人であっても、今の時代、続ける事の不安を心の底に持っているのが実情であり、自分たちの仕事を見てもらい、消費者と語り合うことで、何よりの自信となった様であります。また、少しずつではありますが、私の周りに「左官を目指したい！」「竹職人になりたい！」という人が現れ始めてくれました。消えようとする灯火を繋いでくれる次の世代の登場は、それを何よりも心待ちにする私には、一番に嬉しいことです。

## 繋ぐこと・育むこと

伝えることの大切さが欠けている時代



藁切りを子供に体験させる母子の様子



土のワークショップにて泥に戯れる参加者たち

だと感じます。そして「繋ぐこと」「育むこと」が求められる時代だと。素晴らしい先人たちの智慧を引き継ぎ、若い世代を育むことが、未来に繋がります。『昔ながらの家づくり』そして『家づくり塾』をおして、私は、私の『住』のポジションにて、伝えるべき事、繋ぐこと、育むことが出来ればと願っております。